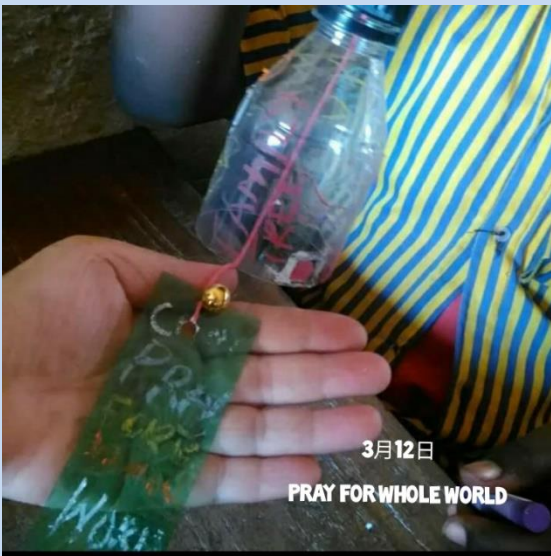


ガーナでお絵描き
くれよん プロジェクト 59号

すっかりとご無沙汰となっていました。前回の報告が2019年3月のパラシュート作りで、子どもたちが思い思いにビニールに色付けする様子をお伝えして以来の『くれよんプロジェクト』の報告です。2021年に入っても未だ終息の見えないコロナ禍ですが、1月18日より約10か月ぶりに学校が再開し、感染予防対策をしっかりと行い活動を再開しました。思えば去年のこの時期、世界各地でコロナ感染者が出始めた頃、私自身まさかアフリカには入って来ないでしょうと思っていました。それどころか、例年よりも早く2月の時期に夏の一時帰国の格安チケットを手配していました。3月に入りアフリカ大陸で初のコロナ感染者が確認されたのがエジプト、段々と見えない恐怖が迫って来ているような思いの中、コロナ終息を祈り、ペットボトルで風鈴を作りました。炭酸飲料のペットボトルを半分に切り、キャップのついているほうに絵を描き、半透明のプラスチックの札にメッセージを託しました。『全世界を祈る。Pray for whole world』決して対岸の火を見ているわけではなく、COVID-19の見えない恐怖が近づいてきていることを子どもたちも感じていたのかもしれない。小さな鈴のついたペットボトル風鈴は風にあたると優しい音色を出しました。



2021年、約10か月にも及ぶ子どもたちの止まっていた学校生活の時間は再び動き出しました。くれよんを使った最初の授業は、プラスチックコップを使っての風鈴作りです。



子どもたちの止まってしまった時間の分、2021年はまだまだ終わりの見えないコロナであるけれど皆さんの事を体験させてあげたいと思います。

報告日 2021年 2月14日 TOSHIKO

協賛 ペんてる株式会社様(ずらウクレヨン)